



図書館だより

NO. 135 2009年 5月号
(2009年5月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

「広島県子ども読書活動推進事業～ひろしまおはなしの旅～」協賛事業
むかしばなし

～ 昔話ワールド ～

4月23日～5月12日はこどもの読書週間です。

こどもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に始まりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、こどもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本をこどもに手わたす週間でもあるのです。

はつかいち市民図書館では期間中おはなし会で昔話絵本を読んだり、昔話絵本を展示しています。5月16日(土)のストーリーテリングのおはなし会では、日本やグリムの昔話を中心に語ります。また、5月1日(金)～5月10日(日)までは昔話クイズを開催します。

これを機に昔話の良さを再発見してみませんか？

<今月の展示>

<さくらびあ展示>『音楽家』

5月31日(日)にさくらびあで開催される「第11回さくらびあ新人コンクール」にちなんで、音楽家に焦点をあてた本を展示します。

<中央展示>『働くあなたを応援します!』

仕事術や時間術、ビジネスマナーや読書術についての本を展示します。内容紹介のポップを見て、自分にぴったりの1冊を見つけだしてみませんか？

<児童展示>『昔話ワールド』

今月は「広島県子どもの読書活動推進事業～ひろしまおはなしの旅～」を開催します。いつもの児童展示の場所が「昔話ワールド」に大変身☆日本をはじめ世界のあちらこちらに伝わる昔話の絵本を集めました。昔話を読んでクイズに挑戦しよう。ぜひ参加してね！

(むかしばなしクイズ実施期間：5月1日～5月10日)

<テーマ展示>『裁判員制度』

5月21日からはじまる裁判員制度に関する本や視聴覚資料の展示を行います。

4月の読書会で読んだ本

一般書（第136回芥川賞受賞作）

『ひとり日和』

青山七恵／著 F／ア 河出書房新社
2007年発行

<あらすじ>

母の中国留学をきっかけに東京に住む遠縁の71歳の老女“吟子さん”宅の居候となったフリーター・20歳の「わたし」が主人公の作品です。「わたし」が、恋人や理解者を求めながら、自立していこうとする姿が淡々と描かれているなかにも、「わたし」の強い意志や希望を垣間見れる作品です。

<読書会参加者から>

メンバー間に意見の相違があることがありますが、葛藤を生むことで次へのステップアップにつながっています。そして、普段、読まないような新人作家の本を読書会で読むことで、視野がひろくなった気がします。

～読書会日時～

毎月第3水曜日(10:00～12:00)です。
会費・場所等は、はつかいち市民図書館へお問い合わせください。

5/20(水)読書会の課題図書は

「さぶ」 山本周五郎/著です。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『ネットじゃできない情報収集術』 漆原直行/著 毎日コミュニケーションズ S002.7/ウ
- 『なるほど図解著作権法のしくみ』 奥田百子/著 中央経済社 021.2/オ
- 『ミシェル・オバマ』 エリザベス・ライトフット/著 センゲージラーニング 289.3/ウ
- 『働くママに効く心のビタミン』 上田理恵子/著 日経BP社 366.3/ウ
- 『僕たち、どうして勉強するの?』 古市幸雄/著 マガジンハウス 379.7/フ
- 『微分積分がわかる』 中村厚/著 技術評論社 413.3/ナ
- 『できそこないの男たち』 福岡伸一/著 光文社 S467.3/フ
- 『排出権取引は地球を救えない!』 藤井耕一郎/著 光文社 519.1/フ
- 『エゴマ』 農山漁村文化協会/著 農山漁村文化協会 617.9/エ
- 『日本の文様』 コロナ・ブックス編集部/編 平凡社 727/ニ
- 『下世話の作法』 ビートたけし/著 祥伝社 779.9/ヒ
- 『僕、ニッポンの味方です』 マイケル・プロンコ/著 メディアファクトリー 830.7/フ
- 『無趣味のすすめ』 村上龍/著 幻冬舎 914.6/ム
- 『霊降ろし』 田山朔美/著 文芸春秋 F/ウ

郷土資料紹介

廿日市市厳島伝統的建造物群保存対策調査報告書

『厳島神社門前町』

廿日市市教育委員会/発行 H521.8/イ
2007年

厳島神社門前町の形成は平安期の厳島神社造営を期に大きく進んだとされ、神社運営に関わる神職の居住地、参拝客が訪れる参詣地、瀬戸内海経済の要衝、歓楽街として発展してきました。生活様式、建築方法及び素材の近年の急激な変化により、伝統的な町並み保存や整備への関心が高まり、平成15年実施した観光資源調査を契機に本格的な学術調査が行われました。

本書は平成17年度から文化庁の補助金を得て、2年間の保存対策調査を行った際の調査報告書で、厳島の門前町についての詳細を知ることができる貴重な資料となっています。

- 第1章・・・門前町の形成
- 第2章・・・門前町の変遷と特色
- 第3章・・・門前町の建築
- 第4章・・・門前町の工作物と環境要素
- 第5章・・・門前町景観の現状
- 第6章・・・門前町と地域社会
- 第7章・・・門前町の保存構想

廿日市市に關係する資料は、一番奥の「N」の欄にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

新刊

ことものほん

『ダッシュだ、フラッシュ!』

ドッ・ブー・マサキ なががわちひろやく BL出版 E/7
ダックスフントのフラッシュは、昼寝ばかりしているなまけもの。ある朝、ともに暮らすシャッセに言われ、しぶしぶ仕事探しに。電報局の配達係にやとわれ、毎日張り切って電報を届けていました。ところが、ある日…。黄色の色使いが素敵な絵本で、いきいきと描かれた犬の表情がユーモラスです。

『ヘビのひみつ』

内山りゅう 写真・文 ポプラ社 487/7
ヘビを見かけたら、あなたは どうしますか? 「こわい」「気持ちが悪い」と思われ、ヘビほど人に嫌われているものも少なくないでしょう。一方、日本では古くからヘビ信仰が存在するのも事実です。人と関わり合いの多いちょっと不気味なヘビのひみつが、たくさん写真と共にわかりやすく説明されています。

『子どもに語る中国の昔話』

松瀬七織訳 湯沢朱実再話 こぐま社 923/7
中国には56の民族の人々が暮らし、そのうちの55は少数民族で、人口の大部分を占めるのは漢民族です。本書は中国を代表する漢民族に伝わる昔話集。中国と日本の昔話は似ているものの、違うところもあり、人々の暮らしの違いによるところが多いようです。中国の昔話の世界をお楽しみください。

『狼森と箕森、盗森』

宮沢賢治作 片山健絵 ミキハウス E/4
岩手山のふもとに、四人の百姓がやってきた。「ここへ畑おこしていいかあ」と言うと「いいぞお」と森が一斉に答える。やがてそこに人が住み…。人が自然の声に耳をすまし、礼儀をつくっていた頃の物語。強いタッチの油絵で表現された賢治の絵本。

『声に出そうはじめての漢詩』

全国漢文教育学会編著 鴨下潤絵 汐文社 921/7
「春眠 暁を覚えず」という言葉を聞いたことはありますか? 中国で作られた漢詩の一部で、意味は「春の眠りは心地よく、夜が明けたことも気づきません」。漢詩は、すべて漢字で書かれた詩。第一巻の本書は、四季折々の自然の美しさをよんだ作品十編を、訳や味わい方などの解説入りで紹介しています。

『ビーバー族のしるし』

エリザベス・ジョージ・スピア こだまともこ訳 あすなろ書房 933/7
丸太小屋が完成したので、父さんは家族を呼びよせるために出かけた。一人残されたマットは大森林の中で、孤独と不安の毎日を暮らす。しかし、危ないところを、インディアンの老人と少年に助けられたマットは、大自然の中で生き抜く知恵を学んでいく。18世紀後半アメリカの開拓時代の物語。

ミニブックトーク

土・どろであそぼう!

暖かくなり、外で遊ぶのが気持ちよい季節。土やどろに触れて、自然の力を感じてみませんか。

最初の1冊は『どろだんご』。どろを丸めて誰でもできる、どろだんごの作り方がリズムカルな文章でつづられています。ひびが入っても水につけてやり直せば大丈夫、やさしく何度もなでれば固くて光るどろだんごができるなどのコツが、読んでいるうちに自然とわかります。もっと詳しいどろだんごの作り方については『光れ!泥だんご』があります。保存の方法やトラブルQ&Aがのっていて、参考になります。

どろが好きなのは子どもだけではなくありません! 3冊目の『どろんここぶた』は、おひゃくしょうのおじさんとおばさんが世界一かわいがっている、どろんこが大好きなこぶたが主人公です。ある日、どろんこを大掃除されたこぶたは怒って家出をします。こぶたは大好きなやわらかーいどろんこに出会えるでしょうか。

土の色は何色ですか?と聞かれたら、黒・茶・灰色…そんな答えが返ってきそうですが、日本全国には黄・ピンク・青など様々な色の土があるのです。最後の『土のコレクション』には、私たちが住んでいる広島県だけでなく、日本各地で採取できる土の色とりどりに載っています。実際に家庭の庭でもすぐできる土集めの方法や保存の仕方など、写真付きでやさしく説明しています。

『どろだんご』 たなかよしゆき ぶん のさかゆうさく え 福音館書店 E/7

『光れ!泥だんご』 監修/加用文男 講談社 751/7

『どろんここぶた』 アーノルド・ローベル作 岸田衞子訳 文化出版局 E/0

『土のコレクション』 栗田宏一著 フレーベル館 407/7

中央展示コーナー紹介

5月の中央展示

働くあなたを応援します！

新年度が始まって1か月が過ぎました。この春に就職をした人、異動などで仕事内容が変わりとまどっている人など新たなスタートをきる人びとに向け、仕事のスキルアップに役立つ本を中心に集めて中央展示をしています。

仕事術や時間術の本から、クレーム処理に関する本、マナーや日本語、読書術についての本、失敗に学ぶ生き方、メンタルヘルスの本や働く女性のための本、ちょっと息抜きに使える本など、普段は図書館の本棚のそれぞれの分野にバラバラに配置してある仕事に役立つ本を1か所に集めてみました。

テレビなどで話題の「地頭力」に関する本、茂木健一郎さんや勝間和代さんの著書など、ここ1～2年のうちに出版された話題の本は人気があり、いつも貸出中のため、今回展示することはできませんでした。そこで、最近出版された本のうちお勧めの本のリストを作成しました。本を選ぶときの参考にしてください。

はつかいち市民図書館は働くあなたを応援しています！

5月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4	5	6	7 休館	8	9 ☆
10	11 休館	12	13	14	15 ◎	16 ■
17	18 休館	19	20	21	22	23 ☆
24 /	25 休館	26	27	28	29	30
31						

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

